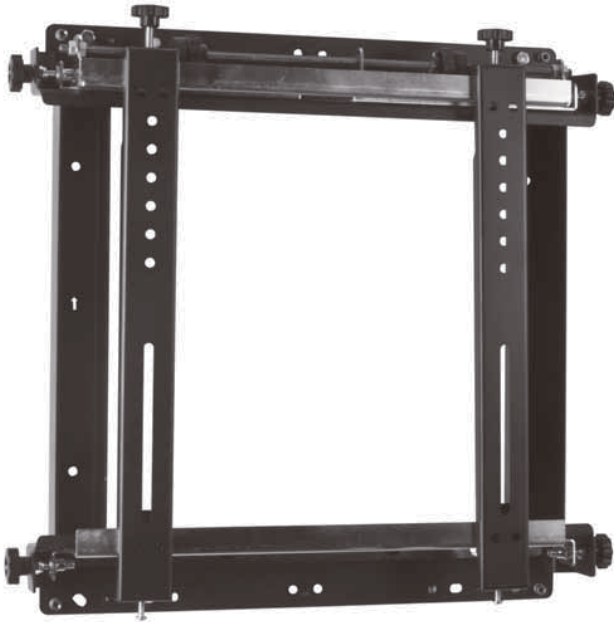




BT8311

業務用 薄型ビデオディスプレイ壁掛金具

取扱説明書



- 耐荷重:75kgまでのフラットディスプレイに対応します。
- マルチ設置の際は、BT8310と組み合わせてのご使用を推奨
- 木柱又はコンクリート製の壁面への取付に適応します。
- マウントパターン：VESA200×200から400×400までユニバーサルに対応します。
- 縦設置・横設置 両ディスプレイ対応
- ディスプレイ設置後、ディスプレイ同士の調整が工具不要、手回しノブで簡単に調整できます。
- スマートにケーブルが整理できる、ケーブルマネジメント機構を搭載しています。



カラー対応



重量用カラー対応



70V型まで対応



延長アダプター同梱



延長アダプター別売



標準



耐荷重



設置後調整機能

目次

安全上のご注意	2
部品表	3
手回しノブの交換 (小さいディスプレイを搭載する場合)	4
取付け方法	5
製品寸法	7

設置に使用する工具類

⊕・⊖ドライバー



電動ドリル



ドリルビット



ペン



水準器



総輸入元: <http://www.studiotech.jp/b-tech/>

スタジオテック株式会社

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともディスプレイと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。BT8311 業務用薄型ディスプレイ壁掛金具は、総重量 50kg 以下の液晶等の薄型ディスプレイを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。これらの最大耐荷重以上の薄型ディスプレイの取り付けには絶対使用しないで下さい。この指定を守らないと、薄型ディスプレイが落下して、けがをしたり、ディスプレイが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にディスプレイを取り付けしないで下さい。ディスプレイに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとディスプレイの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



ディスプレイの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。ディスプレイが落下して、けがをしたりディスプレイが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、ディスプレイや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、ディスプレイや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、スタジオテック（株）に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



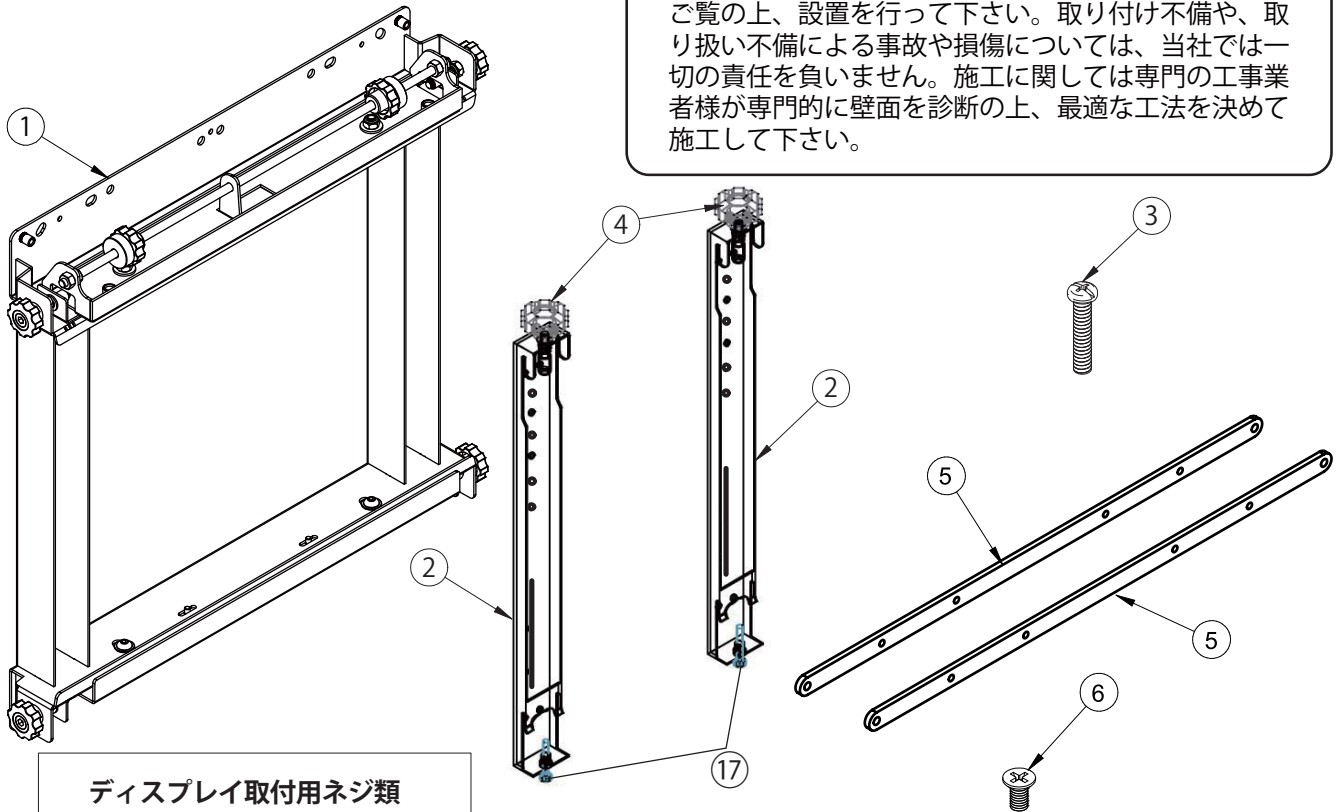
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



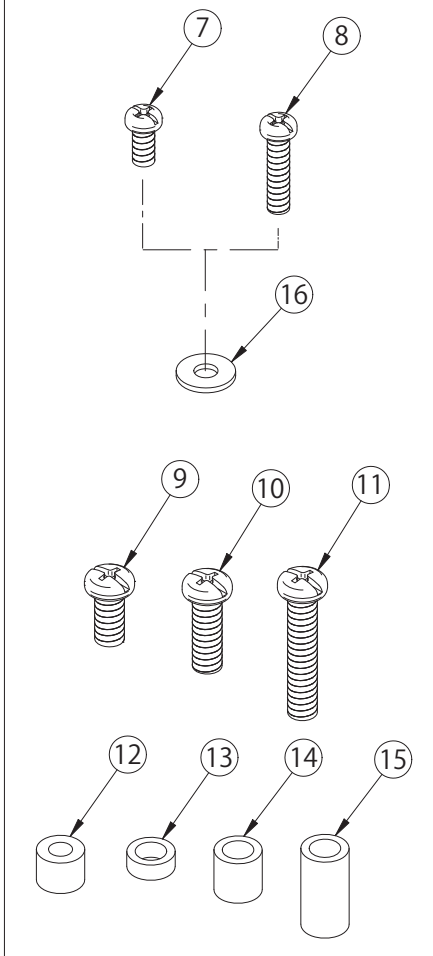
スタジオテック（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

BT8311 部品表

販売店様・工事業者様へ
ディスプレイの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は専門の工事業者様が取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



ディスプレイ取付用ネジ類

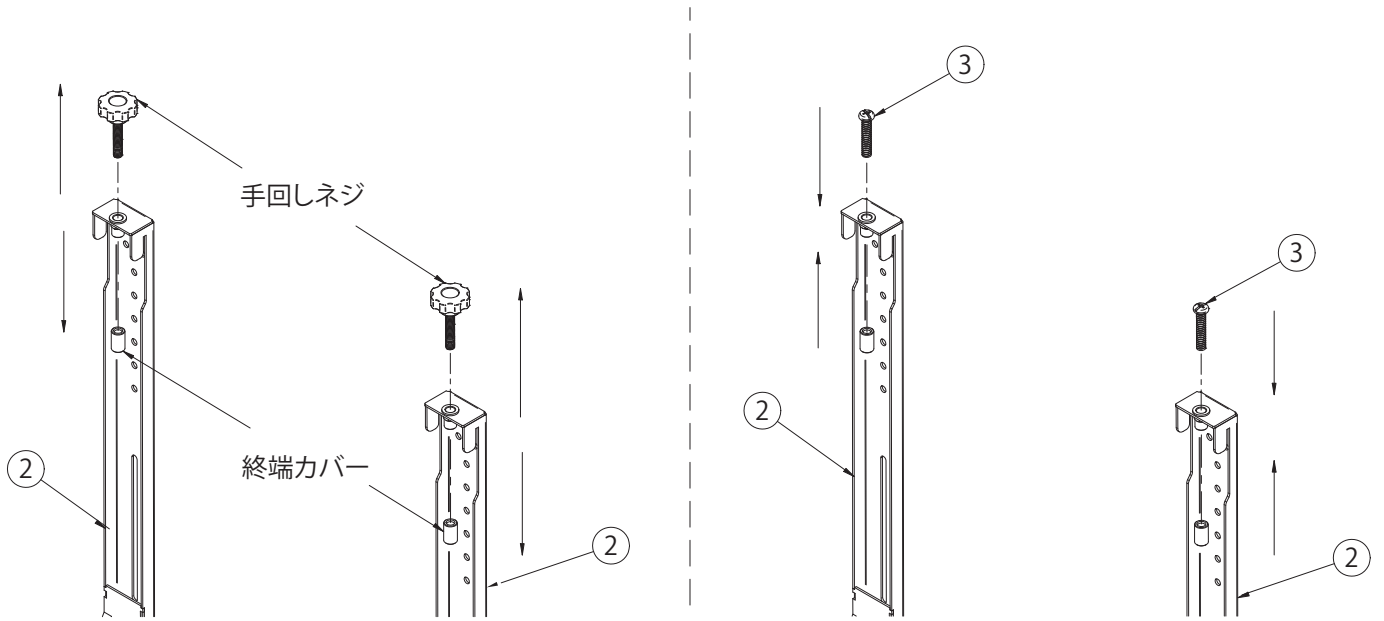


	部品表	梱包数
①	壁掛金具	1
②	ディスプレイ・ブラケット	2
③	M8 x 40mm ネジ (小型ディスプレイ用オプション)	2
④	手回しネジ	2
⑤	VESA600 x 400拡張アダプター	2
⑥	M6 x 12mm平頭ネジ (⑥固定用)	4
⑦	M6 x 16mmネジ	4
⑧	M6 x 25mmネジ	4
⑨	M8 x 16mmネジ	4
⑩	M8 x 25mmネジ	4
⑪	M8 x 40mmネジ	4
⑫	M6 スペーサー (⑧用)	4
⑬	M8 x 5mm スペーサー (⑦もしくは⑨用)	4
⑭	M8 x 13mm スペーサー (⑩用)	4
⑮	M8 x 25mm スペーサー (⑪用)	4
⑯	M6 ワッシャー (⑦もしくは⑧用)	4
⑰	脱落防止ネジ	2

壁掛できるディスプレイは総重量
75kg以内です。

手回しネジ → 小型ネジの交換

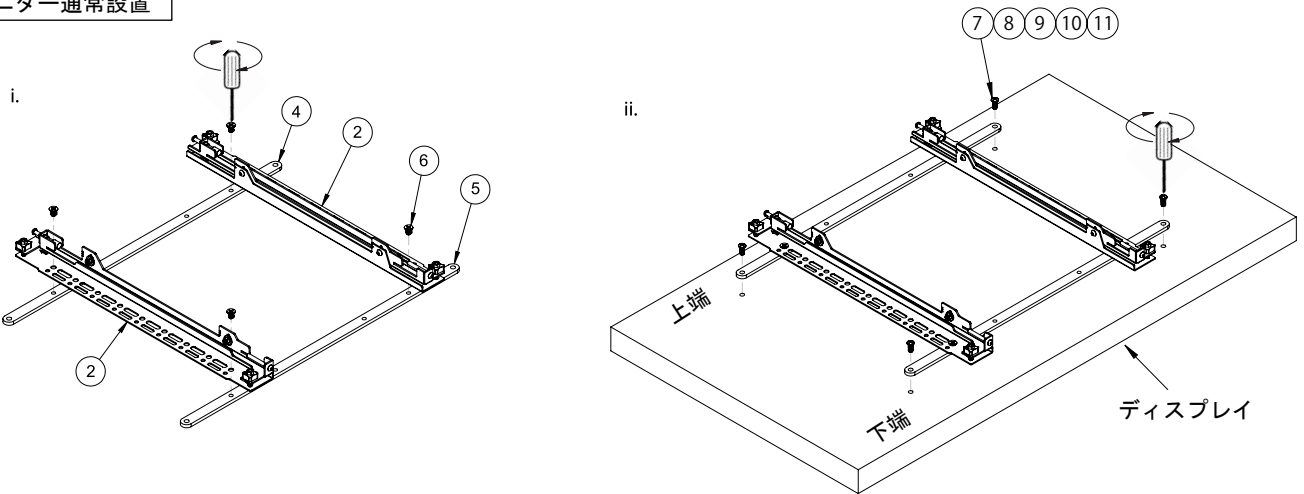
小さなディスプレイを取付けたときに、ディスプレイの外枠から手回しネジが見えることがあります。そのときには、手回しネジを添付の部品番号③ M8 x 40mm ネジ(小型ディスプレイ用オプション)と交換して下さい。



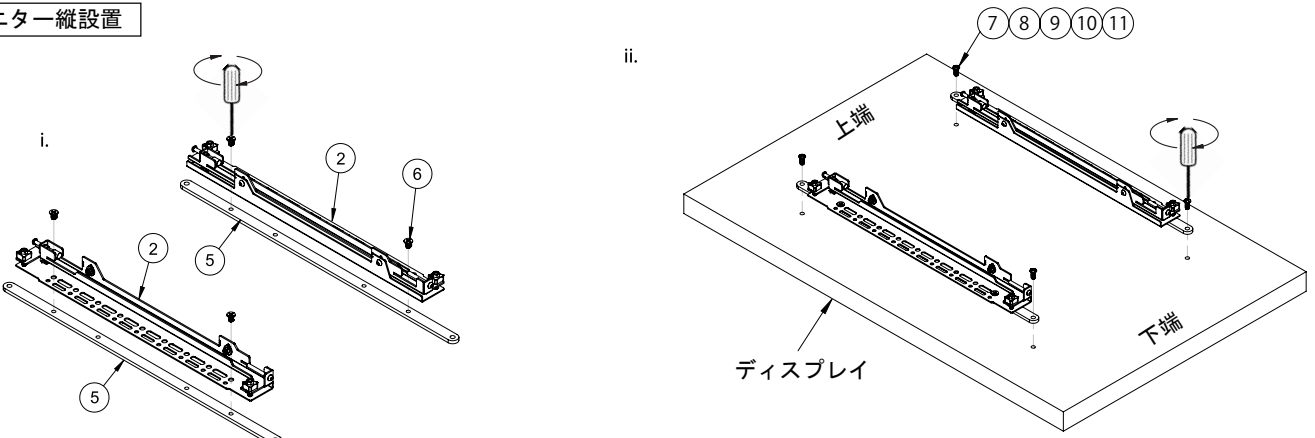
VESA600 x 400拡張アダプターの取付

VESA600 x 400に対応するためには、下図の手順でVESA600 x 400拡張アダプター⑤を取付けて使用してください。(VESA800 x 400のモニターは別売品BT7565を使用して取付可能です)

モニター通常設置

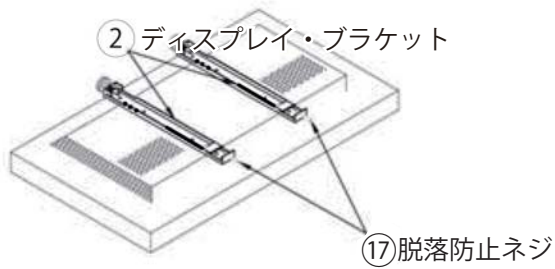


モニター縦設置



取 付 方 法

1. ディスプレイ・ブラケットの取付

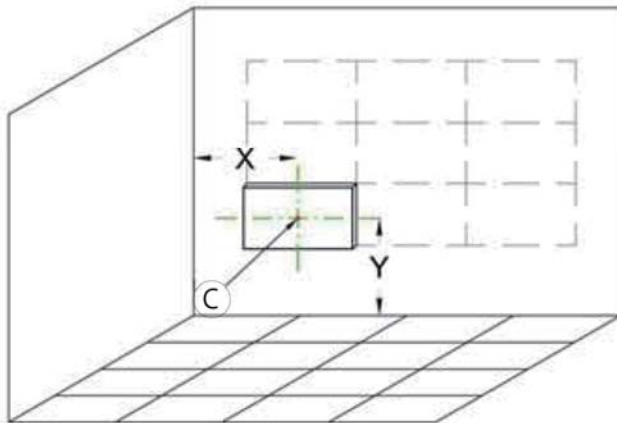


1-1. 部品表の⑦から⑩までのパーツを使ってディスプレイ・ブラケットを取付けます。

※全ての部品を使う必要はありません。

1-2. この時、②ディスプレイ・ブラケットについている⑰脱落防止ネジを緩めておきます。

2. 最初の壁掛金具の取付



2-1. 取付けようとするディスプレイの左下に位置するディスプレイの中心位置◎を割り出して、左図のXならびにYの寸法を計測して下さい。

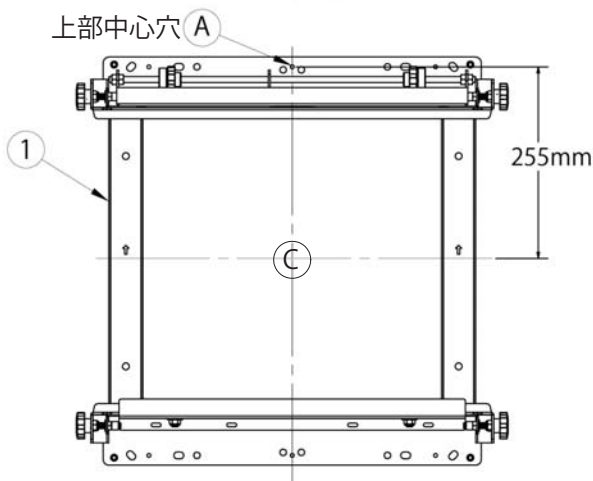
2-2. 下図のようにメンテナンスがしやすいよう、BT8310が間に入るように組み合わせて配置して下さい。

BT8311	BT8311
BT8310	BT8310
BT8311	BT8311

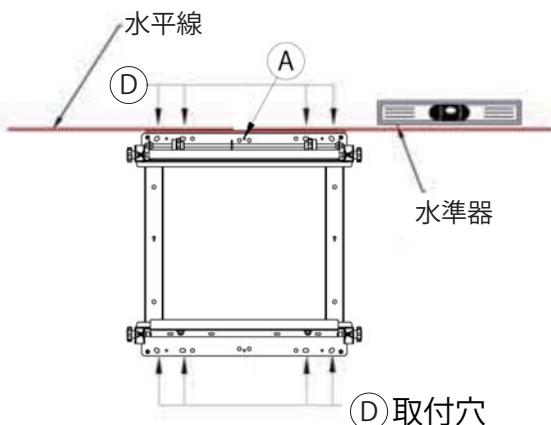
BT8310	BT8310
BT8311	BT8311
BT8310	BT8310
BT8311	BT8311

BT8311	BT8311
BT8310	BT8310
BT8311	BT8311
BT8310	BT8310
BT8311	BT8311

ディスプレイのメンテナンス時に壁掛金具の機種を判別できるように、壁掛金具のモデル名を明示するようにして下さい。



2-3. 中心位置◎から255mm上部の◎の位置に、上部中心穴を合わせ、ペンで印を付けて下さい。

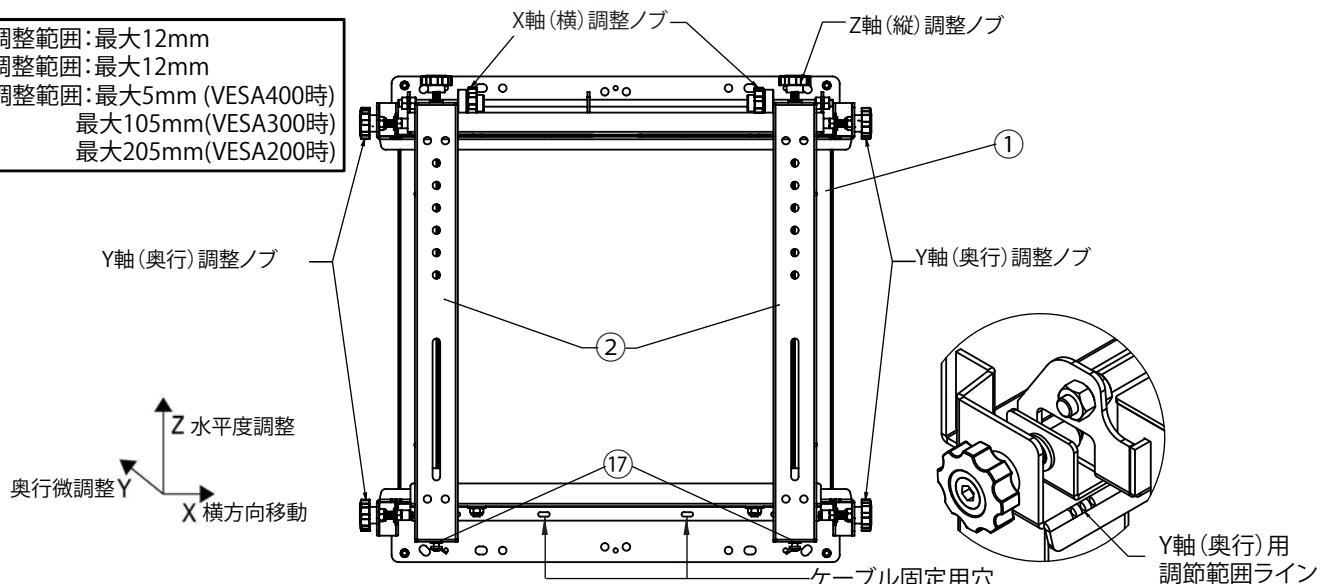


2-4. 壁掛金具を2-2で印を付けた上部中心穴印◎に位置合せし、水準器等で水平を確認しながら、◎取付穴に上部2点、下部2点の取り付け穴用の印をつけます。

上記の◎取付穴に市販のアンカー・ボルトを使って壁掛金具を取付けます。

3. 金具の調節

Z軸の調整範囲:最大12mm
 Y軸の調整範囲:最大12mm
 X軸の調整範囲:最大5mm (VESA400時)
 最大105mm(VESA300時)
 最大205mm(VESA200時)



※ 調整ノブの締めすぎにご注意ください。調整域以上に締め過ぎると金具が変形したり破損の原因となることがあります。

4. ディスプレイブラケットの壁掛金具への取付

①壁掛金具に②ディスプレイ・ブラケットを掛ける時は以下の点に注意して、壁掛固定の調整を行って下さい。

3-1 ①壁掛金具のX軸(横)調整ノブが、2本の②ディスプレイ・ブラケットの間に入るように配置してください。

3-2 ①壁掛金具の上下取付部に②ディスプレイ・ブラケットがきっちり掛かっていることを確認して下さい。

3-3 ①壁掛金具の中心から等距離の位置に2本の②ディスプレイ・ブラケットが来るように、X軸(横)調整ノブを使って調節して下さい。

BT8310/8311で複数台のモニターを取付ける場合は、下図およびカッコ内の指示に従って取付を行って下さい。

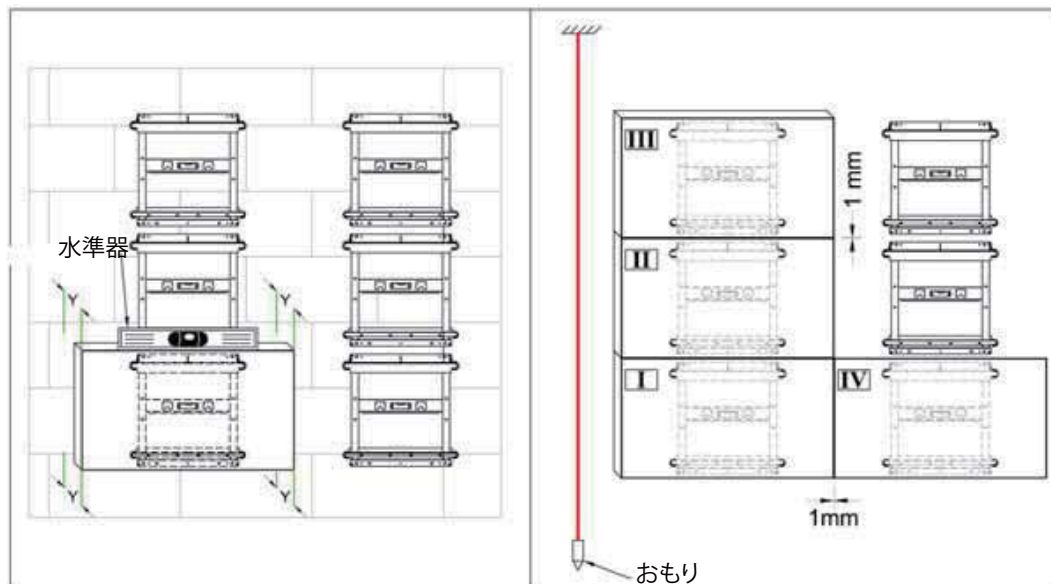
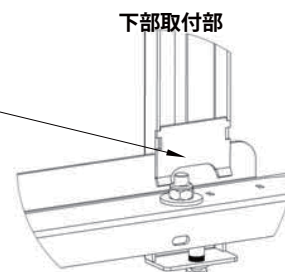
3-4 水準器を使って平衡を確認しながら横方向にディスプレイを並べて、左右のディスプレイの隙間が1mm空けて並ぶようにX軸(横)調整ノブを使って調節して下さい。

3-5 ディスプレイの背面から壁面の距離が等距離になるようにY軸(奥行)調整ノブを使って調節して下さい。

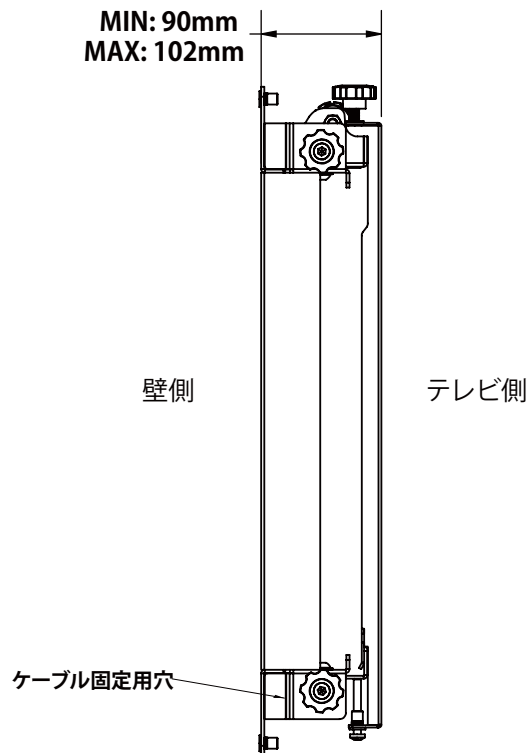
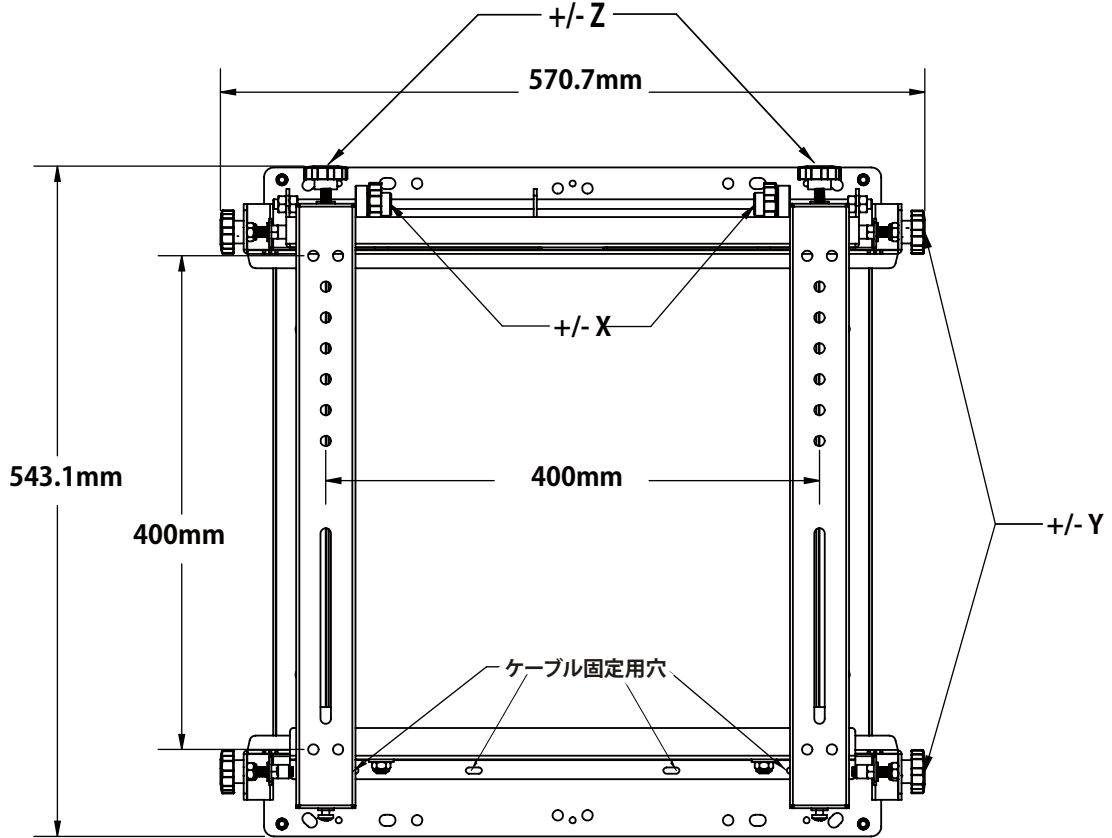
3-6 ディスプレイを縦方向に並べるときは、錘を使って垂直を確認しながら縦方向にディスプレイを並べ、上下のディスプレイの隙間が1mm空けて並ぶように、Z軸(縦)調整ノブを使って調節して下さい。

3-7 ディスプレイを掛け終わったあと、5ページの1-2で緩めた⑰脱落防止ネジを締め付けてください。

3-8 ケーブル固定用穴を設けていますので、必要に応じて結束バンド等を使用してケーブルを固定して下さい。

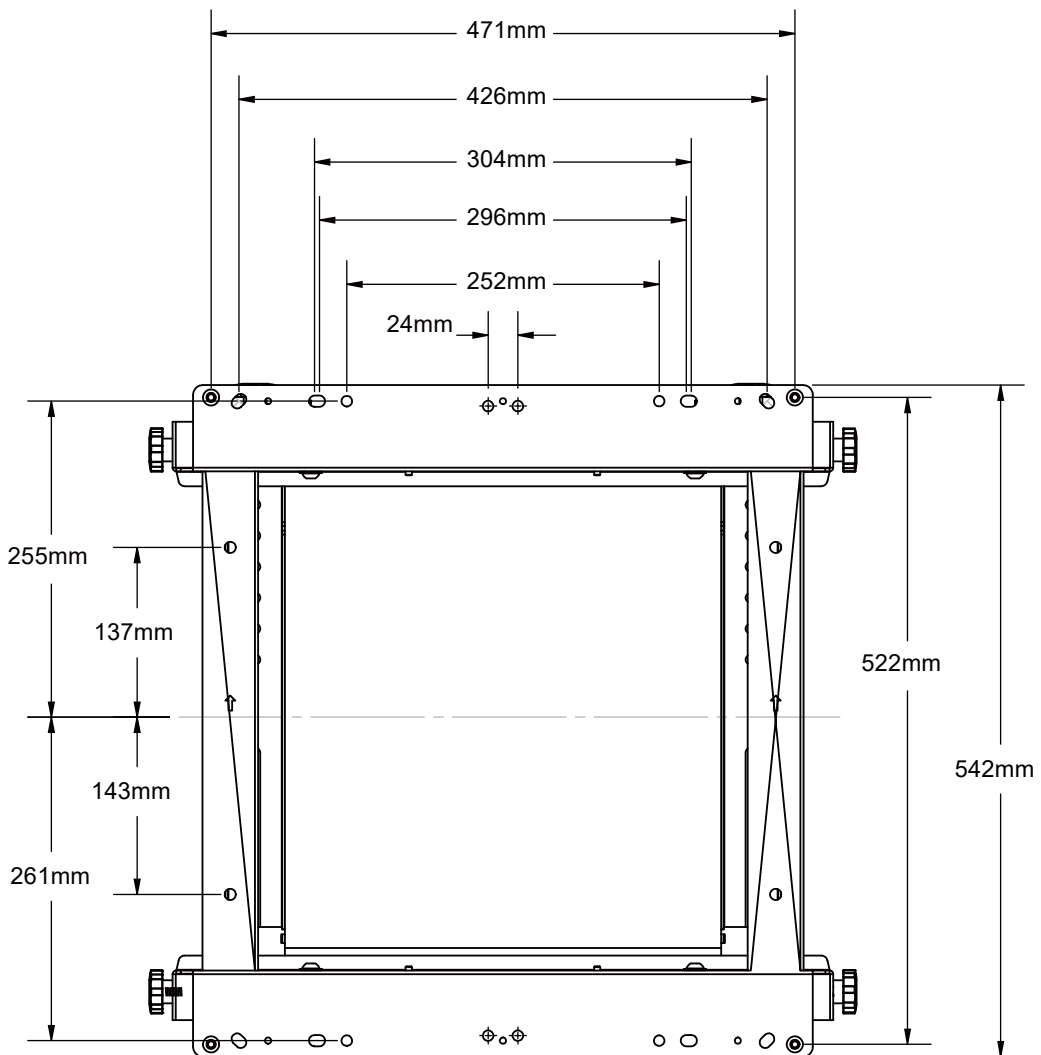
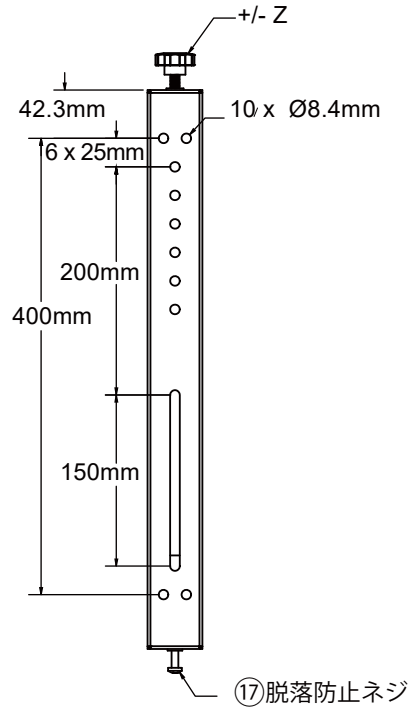


BT8311 外觀図-1



ご注意
ケーブルの挟み込みを防止するために、必ず
ケーブルをケーブルガイドに固定して下さい。

BT8311 外觀図-2



Memo

A large rectangular area with rounded corners, filled with horizontal lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page, leaving a margin on the left.

BT8311

<http://www.studiotech.jp/b-tech/>

